

UAEのオフショア(Offshore)会社

オフショア(Offshore)会社とは

本来オフショアとは、“Off”「離れて」の意味に “Shore”「沖」で沖合を意味しますが、最近では、転じて「国または本土の沿岸から遠く離れた地域」「海外」の意味で使うようになりました。

そして、金融の世界では歴史的、環境的事情により、非居住者(外国人)に対し、租税環境を優遇している国や自治権を持った地域のことを指します。またオフショア金融機関のほとんどが、タックスヘイブン(租税回避地)に拠点を構えています。

日本から良く利用されるオフショアはイギリス領マン島、香港、シンガポール、ベルギー、ルクセンブルクで、その他には、パナマ、スイス、モナコ、UAE、アメリカのユタ、ネバタ州が挙げられます。現在、オフショア地域は全世界に広がっています。

今回は、このオフショア地域であるUAEでの会社設立につき、説明していきたいと思います。

オフショア会社の合法性

極少数の個人及び団体の悪質な活動がオフショア業界に良くないイメージを与えたこともあり、特に9. 11のテロ以降、実際のオフショア会社に対してのデューデリジェンス(精査)およびマネーロンダリング・チェックが厳しく行われ、それ以降は悪質なオフショア濫用はなくなりました。オフショア会社の代表的な運用方法は輸出入、知的財産権の管理、資産の保護、船舶、保険、自営業、銀行などで、税制上のメリットを受け、運用しているケースが多いです。

UAE国内のオフショア会社の特徴

100%税金のないUAEでは、ドバイのジュベル・アリ(Jebel Ali)フリーゾーンとラス・アル・ハイマ(RasAl Khaimah)フリーゾーンにオフショア会社を設立できます。

オフショア会社設立の際の規定・条件等は、地域の法律により多少違いが出てきますが、主な内容は下記の通りです。

- * 100%外国人投資家の所有となる
- * 各種税金はなし
- * 会社設立のための銀行口座の開設は可
- * 資本金は1ディルハムより(100ディルハムをお勧めします)
- * 事務所は特に必要なし
- * UAE内での他のビジネスは不可
- * 長期滞在のためのレジデンスビザの発給は不可
- * UAE不動産の取得は可

そして、オフショア会社設立において不可能な業種があります。

ジュベル・アリ・フリーゾーンにあるオフショア会社としては、次のようなものがあります。

1. 保険 2. 銀行 3. 金融 4. 専門サービス 5. コンサルティング 6. 知的財産 7. メディア
8. 出版 9. 広告 10. 映画制作 11. 賭博 12. カジノ 13. 諮問 14. 不動産会社 15. 軍隊
16. 教育 17. 保安

しかし、ラス・アル・ハイマ・フリーゾーンのオフショア会社の場合はジュベル・アリ・フリーゾーンのように厳しくありません。

UAE国内のオフショア会社の運用例

1. 外国人投資家が、UAEで不動産を購入する場合

これはオフショア会社の便宜性により、資本金の増資、株主の追加などが様々な手続きなく済ませられます。さらに、不動産を販売する場合、オフショア会社を販売すなわち名義変更すると、その不動産はオフショア会社のもので持ち主が変わります。これは不動産を販売する際に発生する複雑な手続きや時間、手数料などが省けます。

2. UAEで現地法人を持つ会社が、国外の他の地域で品物を輸出し代金を受ける場合

UAEの現地法人の場合、51%ローカル/49%外国人投資家の割合で代金を受けるため、この状況に違和感を持つ場合も多いです。従って、UAE国内で品物を販売する際には現地法人を利用して販売、輸出はオフショア会社を利用してその利益を得るようにするのも1つの方法です。

3. UAE現地に会社を設立する場合

書類を簡素化するためにオフショア会社を使う方法があります。すなわち株主が複数の場合、法人定款に多数の名前を記入しなければならない、書類もさらに必要です。従って、オフショア会社を設立し、この会社がUAE現地法人の単独株主に参加すると手間が省けます。